

## 式 辞

木々の芽が日を追うごとに、柔らかな緑に包まれ、色鮮やかな花々が咲き誇るこの佳き日に、御来賓としてPTA 会長〇〇〇〇様の御出席をいただき、令和5年度 埼玉県立熊谷西高等学校 第49回入学式を挙行できますことは、本校にとりましてこの上ない喜びであります。

ただ今、入学を許可されました普通科・理数科 併せて319名の皆さん、そして、保護者の皆様、ご入学、誠にありがとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

新入生の皆さんは、入学者選抜を見事に突破し、本日を迎えました。今日の新鮮な気持ちと感動を忘れることなく、西高生となったことに自信と誇りを持ってください。そして、高い志をもち、一步一步、着実に歩いていきましょう。

まず初めに、友人との出会い、新しい出会いを大切にしてほしい、ということについて 僭越ですが、私の経験を交えて話をします。

私は、高校を卒業して40年になりますが、高校時代の部活動の友人や 同じ学年だった友人と、コロナ禍以前は年に何回か会って話をする機会を持っていました。同じ教師をしている友人もいますし、会社勤めをしていたり、医者や弁護士になっている友人もいますが、その多くは違う職種の仕事をしています。懐かしい高校時代の話をするのはもちろんですが、それ以外にも社会情勢や教育問題などについて、様々な視点から話ができ、とても楽しく、充実した時間を過ごすことができます。この3年ほどは、直接、会うことはできなかったのですが、SNSで時々、連絡をとったりしていました。

高校時代を共に過ごした友人は、私にとって、とても大切な存在です。皆さんも西高で一生続く出会いがきっとあると思います。新しい学校、新しい環境になり、新たな友人や先輩、先生との出会いがあります。この出会いを大切にしていきたいでしょう。

次に、充実した学校生活を送るための心構えについて、話をします。

学校生活の根幹は、日々の授業です。規則正しい生活習慣を心がけ、予習・復習をしっかりと行い、授業を中心に勉強を進めてください。日々の授業と自学・自習を着実に積み重ねていくことが大きな力となり、進路希望を実現するための王道になります。また、文部科学省から指定されているスーパーサイエンスハイスクールとして、全校生徒が探究活動・課題研究に取り組んでいます。この研究をとおして、科学的なものの見方や考え方、課題設定能力やプレゼンテーション能力など、実践的で総合的な学力を高めていきます。

授業以外にも、学校行事や生徒会活動、部活動など、主体的に活動し、仲間と協力して目標達成を目指す機会がたくさんあります。中学校とは違った新たな体験の場が用意されているので、いろいろなことにチャレンジしてください。そして、様々なことに積極的に取り組み、努力し、自分を高めていく中で、思いやりや優しさを身に付け、仲間と協力することの大切さも学んでほしいと思います。

「努力すること」や「協力すること」の大切さを知り、実行できれば、学校生活は、より豊かで実り多いものになるはずです。

続いて本校の進路実績などについて話をします。

本校のほぼ100%に近い生徒が進学を目指しており、国公立大学を第一志望とする生徒も数多くいます。この3月の時点で、西高卒業生の国公立大学の合格者は69名、そのうち現役が64名で、過去5年間で最も多くなりました。具体的には、北海道大学1名、筑波大学2名、千葉大学3名、埼玉大学12名、群馬大学15名、東京都立大学2名などといった進学状況です。また、私立大学については、いわゆる早慶上理GMARCHの合格者は82名、そのうち現役が75名で、この数についても過去5年間で最高となりました。現役の4年制大学進学率は、91.9%になり、これも過去5年間で最高となりました。卒業生たちがこのような成果を達成できたのは、1年時から日々の授業を大切にして主体的に学習し、「チーム西高」として仲間と支え合い、切磋琢磨した結果です。

入学生の皆さんは、高校入学という大きな目標を達成したと同時に、次の目標に向かって新たな一歩を踏み出す時でもあります。西高生全員に共通する最も重要なことは、一人一人の進路希望の実現です。高校入試が終わったばかりで恐縮ですが、目標を大学受験へ切り替えていただければ幸いです。

ここで、保護者の皆様に、2点お願いがございます。

1点目は、本日より三年間、全教職員が一丸となって、誠心・誠意お子様の教育に当たらせていただきますが、教育は学校だけでは完結しません。御家庭や地域の皆様との連携・協力が不可欠です。学校の様子やお知らせなどは、学校HP及び安心メールを中心に発信してまいります。お子様を通じて文書でお伝えすることもございます。折に触れ、学校生活の様子など、お子様からお聞きになっていただければと存じます。

2点目は、高校生には自主・自律が求められます。学校は、生徒一人一人が主体的に自ら考え、適切な行動がとれようとして指導・支援してまいります。御家庭におかれましても、子ども自身が自分でできることは自分で行う習慣を身につけさせ、手をかけすぎないようにサポートして頂ければ幸いです。特に進路につきましては、子ども自身が主体的に判断し、決定するプロセスが大切です。必要に応じてアドバイスをいただき、本人が目指す進路実現に向けて応援してまいりますよう、お願いいたします。

結びに、入学生の皆さんが健康で楽しく、充実した高校生活を送り、大きく成長されることを祈念するとともに、御家族の皆様の御健勝と御多幸を心より祈念し、今後も御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます、式辞といたします。

(約2,300字)

令和5年4月10日

埼玉県立熊谷西高等学校長 金室 紀夫